

3学年だより

NO 562

飛翔

令和2年12月18日



小田原市立城山中学校  
学年主任 水野喜代治

## 心を添える

先日、今年の春に城山中学校から他の学校に転任された先生から、「ネットに載せてある飛翔をいつも見えています。3年生頑張ってますね。そして、いよいよ進路ですね。先生方も出願の準備大変ですね。お体に気を付けて頑張ってくださいね。」というような内容の手紙をいただきました。封筒の中にチョコが一箱入っていました。「甘いものを食べて疲れを取ってくださいね」という想いが伝わってうれしく感じました。学年の先生で、おいしくいただきました。手紙だけでも励まされるのに、一粒のチョコがとっても温かく感じて、癒されました。

12月14日（月）～18日（金）まで、学校評価アンケート期間でした。保護者の方にはお忙しい中、アンケートにご協力いただきありがとうございます。担任の先生が回収したアンケートを主任の私が受け取って教頭先生に提出し集計します。アンケートを担当の先生から受け取って、バラバラと目を通したら、マークシートでアンケートに答えた後に、「ありがとうございました。」と一言、言葉が添えてありました。

「学校は、子どもをよく理解し、適切に指導している。」という項目が気になって、保護者の方のアンケートを見ていたので、「ありがとうございました」とお礼が一言添えてあったのに心がうたれました。アンケートなので、だれが書いてくださったのか特定はできませんが、すごく、うれしい気持ちになりました。私たちは、日々、この3年生の生徒と触れ合いながら、生徒のことを常に考え教育活動を進めているつもりですが、十分に教育活動ができていない面もあり、保護者の方には、不満やもどかしさを感じさせてしまったと反省しています。その中で、「ありがとうございます」という言葉に勇気をもらえました。

なにげない、日常の中で、借りたものを返したり、相手に、自分の気持ちを伝えたり、感謝の気持ちを伝えたりするなど、いろいろな場面で言葉のやり取りや気持ちのキャッチボールがあると思います。その時に、「一つ心を添える」と温かい空気で包むことができるのだと思いました。そして、「ありがとうございました」と自然に心を添えられる人は、素敵なお方だなと思いました。